

Treatment with a barrier strengthening moisturizing cream delay relapse of atopic dermatitis a prospective and randomized controlled clinical trial.

Wiren K

J Eur Acad Dermatol venereol 2009 23(11) 1267-72

アトピー性皮膚炎（AD）の標準的な治療法は、乾燥肌の症状を軽減するための保湿剤治療と組み合わせた、湿疹病変を治療するための局所グルココルチコステロイドまたはカルシニューリン阻害薬である。

ADを有する患者は異常な皮膚バリア機能を有し、そして湿疹の危険性を減らすための戦略はバリアを修復するかまたはバリア機能不全を予防

することである。

目的：本研究の目的は、**アトピー性病変が完全に無くなった後、26 週間維持治療中における湿疹の再発までの時間を尿素含有保湿剤塗布群と無治療群とを比較調査した。**

保湿剤は、皮膚バリア機能を改善することが以前に示されている。

方法：**患者は3 週間の間に湿疹性病変に吉草酸ベタメタゾン（0.1%）を塗布した。**

**湿疹が完全に改善した人は、保湿剤を塗布するか、患部を治療しないまま26 週間の維持期とした。**

湿疹の再発時に、患者は診療所に連絡し、再発を研究者に確認するように指示された。

結果：**55 人の患者が試験に参加し、44 人の患者が維持期であった（1 日 2 回保湿剤を使用して**

22 人および治療を使用していない 22 人)。

保湿剤で治療した患者の再発までの期間の中央値は、無治療群の 30 日と比較して 180 日 (試験期間) 以上であった。

保湿剤で治療された患者の 68% および治療されていない患者の 32% は、その観察期間湿疹がなかった。

**結論: 湿疹に対するバリア改善剤である尿素保湿剤による維持療法は、再発リスクを無治療の場合に較べてリスクを約 3 分の 1 に減少させた。**

対象は Atopic Dermatitis Severity Index (ADSI :

<https://www.dermnetnz.org/topics/easi-score/>) でスコ

ア 6 以上の患者さんである。

**この研究では吉草酸ベタメタゾン (0.1% を最初**

の一週間は毎日2回、2週間目は毎日1回、  
3週間目は隔日に1回塗布している。

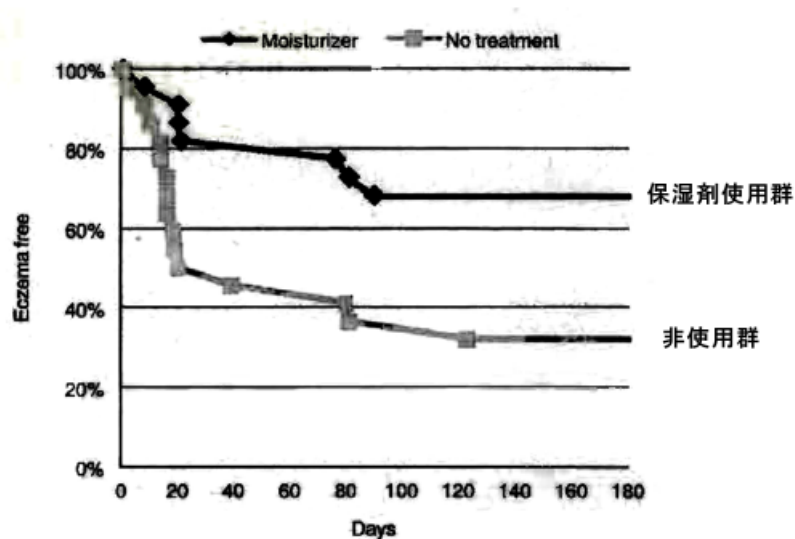
## 維持期における再発時期

Treatment with a barrier strengthening moisturizing cream delay relapse of atopic dermatitis: a prospective and randomized controlled clinical trial. Wären K. J Eur Acad Dermatol venereol 2009

	Group using moisturizer (n = 22)	Group using no treatment (n = 22)
No. (%) of patients having a relapse	7 (32%)	15 (68%)
Median time to relapse (days)	> 180	30
Hazard ratio (no treatment:moisturizer)	3.2 (95% CI 1.3 to 7.8 P = 0.01)	
Absolute risk reduction (%)	36%	
Number needed to treat (NNT)	2.8	
Relative risk reduction (%)	53%	

## 保湿剤使用群と非使用群でのKaplan-Meier曲線

Treatment with a barrier strengthening moisturizing cream delay relapse of atopic dermatitis: a prospective and randomized controlled clinical trial. Wären K. J Eur Acad Dermatol venereol 2009



これから解るように保湿剤は再発までの期間を明らかに延長します。ここで注意しなければならないことは、この文献でも行われているように、**最初にステロイドを 3 週間徹底的に塗布している**ことです。この徹底したステロイド塗布を行わずに、少量のステロイドを塗布してから保湿剤を塗布しても数日以内に再発してしまっていたでしょう。この文献は保湿剤の効用に関するものですが、逆にステロイドの塗り方が極めて重要であることをも示しています。